Supported by
日本財団
THE NIPPON FOUNDATION



SPICE_F



SPICE.F 代表理事

KANO AKIRA

狩野 亮

「心のあり方」

が求められる時代だからこそ
自分らしく生きることの価値
を伝えていきたい－

Photo by : hiroaki yoda

01 TopMessage

代表あいさつ

初めまして、狩野亮（かのうあきら）です。

私は8歳の時に交通事故に遭い、下半身不随となりました。その後、出逢ったチェアスキーという競技で長年日本代表として闘ってきました。世界一を獲得するという目標も叶え、2022年7月をもって日本代表選手としての道を卒業しました。これからは、ここまで私を育ててくれたスポーツ界への恩返しはもちろん、これまでの稀有な人生経験を介して、多くの方々に今より少しでも “豊かな人生” へのきっかけを提供できないか、と新たな挑戦を開始しました。スポーツの世界にどっぷりと身を置いて来たこともあり、ビジネスマンとしては若輩者ですが、不慣れながらもしっかりと世の中に恩返しを行って参る所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

02 Vision

目指す姿

「世の中のすべての人が自分を愛せる未来」

03 Programs

プログラム

Experience Change Essence Mental

Story Resilience Step Mind

講演会



事故に遭った8歳を起点とし、現在までの私の「心」の動きを講演形式にてお話しします。

障がい者として生きる世界、底辺からの世界挑戦、パラリンピックの舞台裏、世界一後の苦悩などの話を通じ、挫折とは何か、レジリエンス（困難をしなやかに乗り越え回復する力）とは、今を生きる力とは、努力の意味（努力＝成功ではない）などを伝えさせて頂きます。



講演会実績 （2025,3現在）

学校（小中高）	……	100回超
企業・自治体	……	30回超
イベント出演	……	50回超
オリパラ教育	……	50回超
講演最大規模	……	約3,200名

2015	国民体育大会希望郷いわて国体基調講演
2023	令曹洞宗宗門礼会北海道地区管区集会
2023	国際ロータリー第2500地区 INTERCITY MEETING

パラリンピックの戦績・受賞歴

2006年	トリノ大会	大回転27位
2010年	ﾊﾞﾝｸｰﾊﾞｰ大会	滑降3位／ｽｰﾊﾟｰ大回転1位
2014年	ソチ大会	滑降1位／ｽｰﾊﾟｰ大回転1位
2018年	平昌大会	ｽｰﾊﾟｰ大回転5位／大回転5位
2022年	北京大会	滑降7位

2010年　北海道道民栄誉賞、網走市民栄誉賞、長野市民栄誉賞など

2014年　紫綬褒章（パラリンピック選手初）
北海道道民栄誉特別賞、網走市民栄誉特別賞、長野市民栄誉特別賞など



アクティビティ

オランダで学んだ“Wheelchair Skills”やパラスポーツなどを行い、気軽に楽しみながら『アクティブな障がい者の生き方』に触れ、身近に感じてもらえるコンテンツを紹介します。

教育・セミナー

Wheelchair Skillsやパラスポーツ、講話を通じて、気づきや学びを提供します！どれも楽しいコンテンツですが、本質的なところには多くの学びがあり現代社会における様々な問題解決のヒントが隠されています。活動を通じて、よりよい人生につながるきっかけ提供致します。

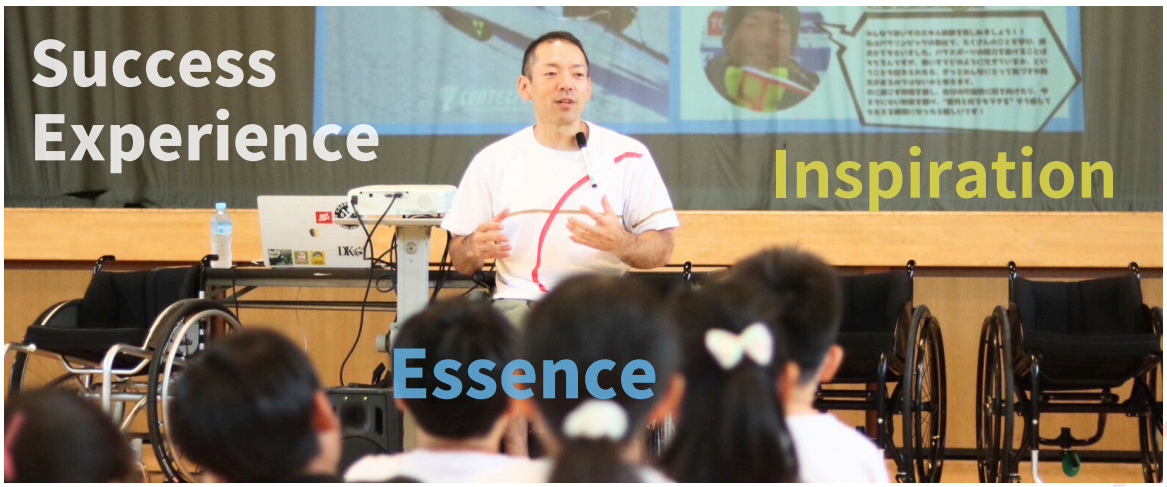












小さな成功体験を重ねることで困難との向き合い方や次への一歩のきっかけを掴んでほしい！

イベント / パラスポーツ

Wheelchair Skillsを用いて、イベント出展を行います。
日常用の車いすで、アクティブな生活（段差、スロープ、ウィリー）体験等を通じ、
楽しみながら多くの気づきを提供します。

また、外部団体と手を組み、様々なパラスポーツイベントを展開します。
車いすバスケット、ボッチャ、ゴールボールなど、楽しみながらパラスポーツに触れ
挑戦の先にある多くの刺激や気づきを感じてみてください！











■協力企業（協力団体）

一般社団法人
センターポール

センターポールは、パラアスリートと共に学校授業や、イベントの企画運営、人権講演会の実施や、企業研修、運動クラスの開催とパラスポーツを通じてスポーツの価値を社会に届ける活動を行っています。パラスポーツの地位向上を目指すと同時に、彼らにしか伝えることができない価値を社会に届けて多様性から社会にイノベーションを起こします。

CENTERPOLE
Challenged Athletes Academy



代表　田中 時宗 さま

一般社団法人
HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS

私たち（通称HAS）は「スポーツ拠点」を目指します。
HASという1つの母体を利用して、チームやスクール、イベントなどの様々なスポーツ活動や社会貢献活動にトライすることができます。障がいの有無、競技種目、性別や年齢、志向にとらわれず、“すべての人がスポーツを楽しめる社会づくり”の一端を担えるような組織を目指しています。

HOKKAIDO
ADAPTIVE SPORTS



代表　齊藤 雄大 さま

04 Inheritance

価値の継承

Chance Experience Possibility Challenge Shine

次世代育成

こどもたちの可能性を最大限に伸ばしていくため、これまでの経験や知識、技術などを継承していきます。

パラスポーツの育成

パラスポーツの世界に挑むためには、環境、資金、人が必要となります。
パラアルペンスキーを始め、本格的に競技へ挑戦する若者をサポートし、世界で輝ける選手の育成を行っていきます。









障がい者との関わり

障がい者、障がい児とその家族の人生に向き合い、自立や社会参画の可能性を引き出し、活躍の場を広げていきます！





05 Sponsorship

協賛企業

協賛のお願い

ご拝読ありがとうございます。
これらの活動の教育や育成支援を広げていくためには資金が必要となります。
つきましては、皆様方からの協賛を募っております。SPICE.Fの活動に、ご理解・ご賛同頂けましたらお力を貸していただけると大変嬉しく思います。多くの方々が明るく笑って過ごす世の中を作っていくパートナーになって頂けると幸いです。



協賛企業（2025,3現在）

MARUHAN
East Japan Company

Netz TOYOTA Kitami
人にやさしく、まちにぬくもりを
ネッツトヨタ北見

SPICE.F

〒063-0034
北海道札幌市西区西野4条9丁目3-34-105
contact@spicef.com